

3. 教育実習の充実

本GPにおいては、事業の狙いの一つとして、教育実習の際に、すべての附属学校（特別支援学校を除く）において、特別支援教育コーディネーターによる特別支援教育に関する説明を行なうことによって、卒業前に特別支援教育の基本的な知識・技能の確認を行なうことをめざしている。

本年度における、教育実習の充実への取り組みの特徴は、これまで行われていなかった、各附属校に配置されている特別支援教育コーディネーターによる教育実習生への特別支援教育の説明を実施したことである。その際、平成20年度に作成した「特別支援教育ワンポイント講習DVD」を使用した。本年度の事業の進捗状況は以下のとおりである。

1) 「特別支援教育ワンポイント講習DVD」の附属学校コーディネーターへの紹介

附属学校のコーディネーター会議の際に、「特別支援教育ワンポイント講習DVD」の内容を附属学校コーディネーターへの紹介し、各校に配布した。

2) 各附属学校への1年生の「発達と教育」の授業で使用しているテキストの配布と参考図書を紹介

実習生への充実した指導と、附属学校自体の特別支援教育の充実のために、各附属学校へ、1年生の「発達と教育」の授業で使用しているテキストを配布し、特別支援教育に関する参考図書（文献リスト）を紹介した。

3) 「特別支援教育ワンポイント講習DVD」の改訂版の作成と配布

各附属学校への「特別支援教育ワンポイント講習DVD」の紹介の際に、音声面などに改善の必要性の指摘があったため、実習に間に合うように、改訂版を作成し、配布した。

4) 「特別支援教育ワンポイント講習DVD」の改訂版を使用する教育実習生への特別支援教育の説明の実施

「特別支援教育ワンポイント講習DVD」の改訂版を使用して、教育実習時の各附属校に配置されている特別支援教育コーディネーターによる教育実習生への特別支援教育の説明を実施した。

5) 「特別支援教育ワンポイント講習DVD」に関するアンケートの実施

「特別支援教育ワンポイント講習DVD」についてのコーディネーターの先生方へのアンケートを実施した結果、以下のような意見があった。

- ・DVDを見せて5分ほどまとめの説明を行うかたちで使用した。
- ・DVDとともにプリントされた1枚程度の資料が欲しい。
- ・保護者のインタビューが1例しかない。2例以上あるといい。
- ・幼稚園の現場では学校とは異なる配慮が必要。

- ・事例が小学生のため、高校とはかけ離れた印象。
- ・「今後の心配」で終わっているが、具体的にどのような支援を行い、どのような成果を上げたのかも知りたい。
- ・事例の吟味が必要。はじめて学ぶ者には「いかにも」という例（演技によるものも可）の方がわかりやすいのではないか。
- ・集団における難しさ（本人、保護者、教員等）や、担任以外の教職員、校内体制等についての内容も欲しい。
- ・教材等の具体例をできるだけ多く載せた方がいい。
- ・聞き取りやすさの改善が必要（特にインタビュー）。

6) 各附属学校コーディネーターによる次年度の教育実習に向けての意見交換

附属学校コーディネーター会議の際に、今年度の「特別支援教育ワンポイント講習DVD」を使用しての実習時の特別支援教育の説明について意見交換を行った。

